2025（令和 7)年度 看護学部 卒業時アンケート結果

ＩＲ委員会
ＩＲ課

Ⅰ．看護学部卒業時アンケート調査の概要

１．目的

1） 学生自身が看護学部における学びを振り返り、看護学部の教育、支援及び自己の成長について評価する。

2） 1）の結果に基づき、看護学部の継続的な教育改善に役立てる。

２．実施

1） 対象：東京純心大学 看護学部 2025（令和 7）)年度 卒業生 62 名

2） 時期：2025（令和 7）年 2 月 17 日

3） 配付・回収方法：2025（令和 7）年 2 月 17 日の看護師国家試験自己採点時にて、

4） ホワイトボードへ Google フォームの QR コードを掲示。

5） 回収状況：50 名（回収率 80%）

３．質問項目

1）ＤＰ（「ディプロマ・ポリシー：卒業認定・学位授与に関する方針）の自己評価について

2）看護学部の教育（講義・演習・実習）について

3）看護学部の支援について

4）学生の成長について

5）看護学部の教育に対する満足度について

Ⅱ 調査結果

１．ＤＰ（ディプロマ・ポリシー：卒業認定・学位授与に関する方針）の自己評価について

			1 身についていない	2 あまり身についていない	3 どちらともいえない	4 ある程度身についている	5 身についている
DP1	キリスト教の精神を基調とし、かけがいのない存在である人間を尊び、よりよい人間関係を築くことができる。	人間の尊厳と権利を擁護する力	1 (2%)	0 (0%)	3 (6%)	16 (32%)	30 (60%)
		人間関係形成力	0 (0%)	0 (0%)	2 (4%)	19 (38%)	29 (58%)
DP2	倫理的かつ的確な臨床判断のもと、科学的根拠に基づいた看護を実践する能力を身につけている。	臨床判断力	0 (0%)	0 (0%)	9 (18%)	22 (44%)	19 (38%)
		科学的看護実践力	0 (0%)	0 (0%)	7 (14%)	23 (46%)	20 (40%)

Ⅱ　調査結果

１．ＤＰ（ディプロマ・ポリシー：卒業認定・学位授与に関する方針）の自己評価について

			1 身についていない	2 あまり身についていない	3 どちらともいえない	4 ある程度身についている	5 身についている
DP3	多様な社会に生きる対象者が、自分らしく生活できるよう看護を実践する能力を身につけている。	対象ニーズに基づく看護実践力	0 (0%)	0 (0%)	5 (10%)	26 (52%)	19 (38%)
DP4	看護専門職としての役割･責務を理解し、多職種と連携・協働する能力を身につけている。	看護専門職として自律する力	0 (0%)	0 (0%)	3 (6%)	27 (54%)	20 (40%)
		多職種連携・協働力	0 (0%)	0 (0%)	2 (4%)	22 (44%)	26 (52%)
DP5	看護学の発展のために継続的に学び、看護を創造する能力を身につけている。	課題発見力	0 (0%)	0 (0%)	5 (10%)	25 (50%)	20 (40%)
		課題解決力	0 (0%)	0 (0%)	5 (10%)	25 (50%)	20 (40%)
		看護創造力	0 (0%)	0 (0%)	8 (16%)	23 (46%)	19 (38%)
		継続的に学ぶ力	0 (0%)	0 (0%)	6 (12%)	21 (42%)	23 (46%)

☞「⑤身についている」、「④ある程度身についている」と回答したものを合わせると、「対象ニーズに基づく看護実践力」において 90%弱と高い習得状況を示している。また、「人間の尊厳と権利を擁護する力」、「人間関係形成力」、「臨床判断力」、「科学的看護実践力」、「課題発見力」、「課題解決力」、「看護創造力」、「継続的に学ぶ力」において、80%を超える高い習得状況を示している。

ＤＰ達成状況

		1 身についていない	2 あまり身についていない	3 どちらともいえない	4 ある程度身についている	5 身についている
DP1	キリスト教の精神を基調とし、かけがいのない存在である人間を尊び、よりよい人間関係を築くことができる。	1 (1%)	0 (0%)	5 (5%)	35 (35%)	59 (59%)
DP2	倫理的かつ的確な臨床判断のもと、科学的根拠に基づいた看護を実践する能力を身につけている。	0 (0%)	0 (0%)	16 (16%)	45 (45%)	39 (39%)
DP3	多様な社会に生きる対象者が、自分らしく生活できるよう看護を実践する能力を身につけている。	0 (0%)	0 (0%)	5 (10%)	26 (52%)	19 (38%)
DP4	看護専門職としての役割・責務を理解し、多職種と連携・協働する能力を身につけている。	0 (0%)	0 (0%)	5 (5%)	49 (49%)	46 (46%)
DP5	看護学の発展のために継続的に学び、看護を創造する能力を身につけている。	0 (0%)	0 (0%)	19 (10%)	69 (35%)	62 (31%)

☞「①身についている」、「②ある程度身についている」と回答したものを合わせると、「ＤＰ１」が 94%、「ＤＰ２」が 84%、「ＤＰ３」が 90%、「ＤＰ４」が 95%と高い結果となった。
「ＤＰ５」は 66%と、他と比べると低い。

【参考】ディプロマ・ポリシー達成状況（自己評価）とディプロマ・ポリシーに関わる学修評価

		自己評価 Lv. 0-4	学修評価 Lv. 1-4
DP1	キリスト教の精神を基調とし、かけがいのない存在である人間を尊び、よりよい人間関係を築くことができる。	3.51	3.20
DP2	倫理的かつ的確な臨床判断のもと、科学的根拠に基づいた看護を実践する能力を身につけている。	3.23	3.59
DP3	多様な社会に生きる対象者が、自分らしく生活できるよう看護を実践する能力を身につけている。	3.28	3.75
DP4	看護専門職としての役割・責務を理解し、多職種と連携・協働する能力を身につけている。	1.80	3.74
DP5	看護学の発展のために継続的に学び、看護を創造する能力を身につけている。	2.47	4.45

＊自己評価は「⑤身についている」を４点、「④ある程度身についている」を３点、「③どちらともいえない」を２点、「②あまり身についていない」を１点、「①身についていない」を０点として換算
学修評価は、各ディプロマ・ポリシーを達成する必修科目の評価ＧＰの平均

２．看護学部の教育（講義・演習・実習）について

		1 改善の必要がある	2 どちらともいえない	3 改善の必要がない
1)	看護学部の講義について	7(14%)	26(52%)	17(34%)
2)	看護学部の演習について	4(8%)	21(42%)	25(50%)
3)	看護学部の実習について	9(18%)	19(38%)	22(44%)

２．看護学部の教育（講義・演習・実習）について

〔自由記述〕

(1)４年間の講義について

【１改善の必要がある】と回答した理由

・ICT 教材の活用を増やして欲しい。文字や言葉の講義が多い印象。（外部講師は除く）
・教科書や資料を読むだけの先生が多いため。
・ただ教科書を読んでたら解説を読んでるだけでどこがポイントとか国試に出やすいとか教えてもらえないから。テストに受かるための授業じゃなくて国試を見据えた授業をしたほうがいいとおもいます。
・1、2 年の頃から保健師国家試験の対策を意識したかった。

【２どちらともいえない】と回答した理由

・教員によって指導のレベルに差がある。
・基本的に時間配分や課題量が適切であるため。
・本当に自分次第。と今の自分は思う。
・生徒参加型の授業にするか、過去問を解く形にするなどにしないと生徒の集中力が保てないと感じたから。

【３改善の必要がない】と回答した理由

・4 年間の講義中に困ることがなかったため。
・国家試験にも実習にも役立つ内容を多く学ぶことができたため。
・レジュメやプロジェクターを用いた授業で分かりやすかった。

〔自由記述〕

(2)4 年間の演習について

【１改善の必要がある】と回答した理由

・他の大学のように、血糖測定や点滴ポンプの流量の設定の仕方、また注射の練習の際に使用する腕のモデルなどもっと臨床や現場にちかいものができるよう整えて欲しい。
・時間がなくて十分にできず理解できない時があったため。（看護記録などを除く）

【２どちらともいえない】と回答した理由

・分かりやすく説明してくれるため。
・実習とのギャップは正直あった。先生によって(聖マリの先生も含む)やり方、が違うのは戸惑う部分ではあった。一年からいない先生に、3 年 4 年になって実習担当として受け持っていただくと、1 年の時の演習を全く知らないので意見の相違が生徒と先生の中で生まれていた

【３改善の必要がない】と回答した理由

・課題があり、実践を教員が見せてから生徒にやらせるため身につきやすい。
・実習で必要な技術を的確に身につけることができたため。
・改善の必要がないと感じた。

２．看護学部の教育（講義・演習・実習）について

〔自由記述〕

(3)4 年間の実習について

【１改善の必要がある】と回答した理由

・実習グループの当たり外れが酷い。先生によって言うこと違うのもやめて欲しい。

・私がそう思っているだけかも知れませんが、記録をずっと持っているせいで先生が記録について改善する点を記載できないことがあるため。記録を見せるタイミングが必要と考える。

【２どちらともいえない】と回答した理由

・先生によっては全然相談に乗ってくれない人もいるから悩みを打ち明けにくい。

・学内日が有意義なものにしたほうがいい。

【３改善の必要がない】と回答した理由

・実習中の相談などもしやすく良かったため。

・実習期間や実習記録の内容が、学びの深さと負担のバランスがちょうど良い程度であったため。

・聖マリで実習できたことで看護の実践力を身につけることができたため。

・特に改善が必要ではないと思ったため。

・実習にお忙しい中ほぼ毎日先生方がいてくださっていたから。

☞看護学部の教育に関する改善の必要性について、「１改善の必要がある」と回答した割合は「講義」14%、「演習」8%、「実習」18%ともに 2 割以下となった。「講義」は「②どちらでもない」と回答した割合が 52%と回答した半分以上の結果となった。

３．看護学部の支援について

		1 全く充実していなかった	2 充実していなかった	3 どちらともいえない	4 充実していた	5 とても充実していた
1)	アドバイザーによるサポート・相談について	2(4%)	4 (8%)	11(22%)	17(34%)	16 (32%)
2)	進路・就職に対するサポート・相談について	0(0%)	1 (2%)	14(28%)	13(26%)	22 (44%)
3)	国家試験に対する支援について	0(0%)	4 (8%)	15(30%)	17(34%)	14 (28%)

３．看護学部の支援について

〔自由記述〕

(1) アドバイザーによるサポート・相談について

【①全く充実していなかった】と回答した理由

・特に利用しなかった。

【②充実していなかった】と回答した理由

・コミュニケーションが難しいと感じたから。

・あまり関わらなかった。

【③どちらともいえない】と回答した理由

・ころころ変わりすぎてしまい、また一から伝えないと思うと気が少し引ける部分もあった。

・あまり相談の機会はなかった。

【④充実していた】と回答した理由

・充実していたため。

・1 年に数回面談があり相談も話すことが出来たため。

・不安な時に相談にのって頂いたため。力になった。

【⑤とても充実していた】と回答した理由

・沢山相談にのっていただき、特に国試前支えになったから。

・言葉では、書けないほど支えてもらえて、嬉しかった。

・アドバイザーの先生から丁寧に指導していただいたから。

〔自由記述〕

(2) 進路・就職に対するサポート・相談について

【①全く充実していなかった】と回答した理由

【②充実していなかった】と回答した理由

・サポートセンターで情報を得られたから。

【③どちらともいえない】と回答した理由

・面接の練習は役に立った

・アドバイザーの方に頼り切っていたため、どちらとも言えないです。

・親切に相談に乗って頂いて、楽に履歴書が書けた。

【④充実していた】と回答した理由

・とてもサポートセンターの方が親切に対応してくれたため。

・面接練習や履歴書の書き方などの相談は充実していました。

・自分１人だとどうしてもいきづまってしまうため専属の人がいることが安心できる。

【⑤とても充実していた】と回答した理由

・面接練習、履歴書の書き方について詳しく教えてくれた。

・キャリアサポートセンターの方々に就職前は面接練習などをして頂き、無事内定を頂けた。

・アドバイザーの先生に、エントリーシートや面接などについて細やかな指導をしていただけたため。

・勝田さんや清水さんが丁寧にご指摘してくださり安心して相談することができました。

・先生の今までの経験を踏まえた就活アドバイスをいただけたから。

３．看護学部の支援について

〔自由記述〕

(3) 国家試験対策に対する支援について

【①全く充実していなかった】と回答した理由

【②充実していなかった】と回答した理由

・解説を読んでいるだけでどこが大事かわからないです。覚え方とか教えて欲しかったです。

・過去問中心だったため、すでに解いている問題などは答えを記憶してしまったりしていて思考力や考察力はあまり身に付かなかったような気がします。

【③どちらともいえない】と回答した理由

・試験直前に学校に来る時間を勉強にあてたいと思った。

・外部講師の講義など良かった。

・模試とかの回数は良かったと思うため。しかし学内補講が 10 月くらいまでと早く終わってしまったのが残念だった。もう少し多くても良いかなと思った。また、強化学生への対応が少し甘いかなと思った。
安全圏の人の方が補講に来ているイメージだったため。

【④充実していた】と回答した理由

・教員の皆さんは何を聞いても国試に関して返答してくれるため。

・テコムや東京アカデミーの講師の講義を受けられたため。

・学校でみんなで勉強する時間を作って下さり、間違ったところを解説していただけて有難かったからです。

【⑤とても充実していた】と回答した理由

・ゼミ内で定期的に国家試験対策講義や勉強会を開いていただいていたことで、勉強の機会をよく確保できたため。

・各領域の先生方の講義や外部講師による対策が充実していた。

☞「⑤とても充実していた」、「④充実していた」と回答したものを合わせると、「(1) アドバイザーによるサポート・相談」が 66%、「(2) 進路・就職に対するサポート・相談」が 70%、「国家試験対策に対するに対する支援」が 62%となっている。

４．本学での学びや体験を通じた成長について

	1 全く成長しなかった	2 成長しなかった	3 どちらともいえない	4 成長した	5 大いに成長した
本学での学びや体験を通して、入学時と比べてどの程度成長したか。	0(0%)	1 (2%)	6(12%)	18(36%)	25 (50%)

４．本学での学びや体験を通じた成長について

〔自由記述〕

成長したと思うところ

・看護師としての知識・技術　学習する習慣。
・看護について深めることができた。
・人のことを多方面で捉えられるようになった。
・純心でよかったと思うから。
・人の立場になって考えられるようになったこと。今やるべきことの優先順位を自分で決めて実行したこと。
・継続的に学習を重ねる姿勢や、知識同士の結びつきを意識しながら積極的に学びを深める姿勢が身についた。
・優先順位を考えて行動することができるようになった。自分の考えをはっきり伝えられるようになった。
・傾聴することができるようになったことや看護の知識が多くなり日常でも考えられるようになったこと。
・特に成長した点は人に話しかける事ができたことだと思います。
また看護関連の知識や pdca ができるようになったため。
そして今まで身内しか頼れなかったことが先生に少しでも頼れるようになったためです。

☞「⑤とても成長した」、「④成長した」と回答したものを合わせると 86%と高い割合になっている。

５．東京純心大学看護学部の教育に対する満足度

1 全く満足しなかった	2 満足しなかった	3 どちらともいえない	4 満足している	5 大いに満足している
0(0%)	6 (12%)	14(28%)	22(44%)	8 (16%)

〔自由記述〕

【①全く満足していない】と回答した理由

【②満足していない】と回答した理由

・先生の態度が生徒によって違うため。
・今まで色んなアンケートに書いてきたけど改善されたと感じたことがあまりなかったため。

【③どちらともいえない】と回答した理由

・報告が遅かったり、日程決めるのが遅かったりする。
・授業の形など改善点があると感じたから。

【④満足している】と回答した理由

・1 年生の時に不安なことがあったが、支援してくださることも多くあり、その後も同様であるため。
・電子教材の使用を始めたのはとてもいいと思います。
・学務課の方、アドバイザーの先生、実習指導教員の方皆様丁寧にご対応頂けたから。

【⑤大いに満足している】と回答した理由

・講義においても実習においても、学生にプレッシャーをかけたり、急かしたりすることなく温かく支えていただけたので、安心して勉強や目の前の患者さんに向き合えたため。

☞「⑤とても満足している」、「④満足している」と回答したものを合わせると 60%となった。

６．東京純心大学について、改善するともっとよい大学になると思うこと

〔自由記述〕

・実習先や教育内容を整っているので、もう少しネームバリューを高めるために看護や医療系に強いことをアピールした方がいいと思います。
・みんなで勉強できるスペースが欲しいです。
・模試後の Google フォーム回答など、全員が入力しないと帰宅できないなど、無駄な時間が多く、もう少し考えてほしい。終わっていない人だけを残せばいいと思う。
先生から傷つく言葉を言われたり、生徒のことを考えてるとは思えない指導が多かったため、改善してほしい。
・講演会や集まりなどの司会がスムーズではなく、時間配分がうまくいってないことが多々あり、参加する側としてなんの時間かわからないときがあったのでスムーズに会を進行して欲しい。
・空調管理ができず、6 階の空き部屋で自習する時でも毎回 1 階学務課へ行かないといけなかったため大変だった。学習室のように電話回線を繋げるなどで対応して欲しい。